

<p>【イベント名】 第44回 APAN 会議 歯科 2</p>	<p>【概要】 最近、漢方薬が再注目されており、これは、植物のエキスや一部を利用して治療および予防を行うものである。漢方薬は安全だと思われることが多いが、薬物相互作用や副作用があることに気を付けなければならない。このセッションでは、歯科での有効で安全な漢方薬の利用について議論した。7名がそれぞれ最新の生体内・外での研究について発表した。講師や研究者だけでなく、ブラウイジャヤ大学で漢方薬の選択コースを受けている学生も本セッションを視聴した。</p>
<p>【期日】 2017.08.31</p>	
<p>【会場】 大連国際金融会議センター (中国), ブラウイジャヤ大学 (インドネシア), ジェンベル大学 (インドネシア), アイルランガ大学 (インドネシア), ランプン・マンクラート大学 (インドネシア), スマトラウタラ大学 (インドネシア), マハサラスワティ デンパサル大学 (インドネシア), ガジャ・マダ大学 (インドネシア), マラ・レディ女子歯科大学 (インド), マレーシア・イスラム科学大学 (USIM) (マレーシア)</p>	<p>モニタに映し出される接続施設。</p>
	<p>撮影場所：ジェンベル大学</p>
<p>ブラウイジャヤ大学の会場の様子。</p>	<p>撮影場所：ブラウイジャヤ大学</p>
	
<p>提示されたスライド。</p>	<p>提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>スマートフォンで会議のストリーミング視聴をする学生。</p>	<p>マハサラスワティ デンパサル大学の会場の様子。</p>
<p>撮影場所：ブラウイジャヤ大学</p>	<p>撮影場所：マハサラスワティ デンパサル大学</p>